

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	初等工学実験						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)・必修科目(電気エネルギーコース)・必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱量計を用いた温度変化の測定から比熱とジュール熱を計算する。 ・糸に生じる定在波の波長を測定し振動体の振動数を求める。 ・電位差の測定から、電流の流れ方をビジュアルにとらえる。 ・電子の基本的性質を理解するために、電子の比電荷とプランク定数を測定する。 ・ロボット実験を通して操作プログラムを習得する。 						
日程と内容	<p>9/17 ねじれ振り子による針金の剛性率測定。 9/24 Jollyのばねばかりによるエタノールの表面張力測定。 10/ 1 混合法による固体(アルミニウム、鉛)の比熱測定。 10/ 8 Melde振動器の振動数測定。 10/15 伝導体(アルミ箔)上の等電位線の測定と描画。 10/22 電流による仕事当量の測定 10/29 電子の比電荷 e/m の測定 11/12 プランク定数 h の測定(1) 11/19 プランク定数 h の測定(2) 11/26 Wheatstone bridge による電気抵抗の測定 12/ 3 実験課題の再検討及び実験未終了者に対する補足実験と指導。 12/10 実験課題の再検討及び実験未終了者に対する補足実験と指導。 12/17 実験課題の再検討及び実験未終了者に対する補足実験と指導。 12/24 実験課題の再検討及び実験未終了者に対する補足実験と指導。 1/15 実験課題の再検討及び実験未終了者に対する補足実験と指導。</p>						
成績評価基準	定期試験			実技	10%		
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	90%		プレゼンテーション			
	課題 演習			計	100%		
授業到達目標の達成度	当初の到達目標は課題の実験を通しておおむね到達できた。						
反省点	ホイーストンブリッジの実験は接点の接触具合を改善するために、なんらかの措置をとりたい。期限内のレポート提出を確実にさせるために、学生によりは強く注意を喚起すべきであった。						
来年度の計画	今年度と同じ方法で実験授業を進めてゆく。ただし、一部の測定機器はより目的に適した器具に取り換える予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	これまでに実験授業を経験しなかった学生には、この科目は新鮮に映ったようである。						
履修登録者数	68名	定期試験 受験者数	64名	合格者数	64名	合格率	100%